

## インターネットモニターアンケート結果

### 1 回答者

合計 88人

性別 男性40人 女性48人

年代 20代5人 30代9人 40代29人 50代17人 60代12人 70代以上16人

### 2 紙面で紹介した情報の中で、最も興味を持った記事はどれですか。

1面「自分の未来を見つめる 職場体験学習」 27人

2・3面「考えよう スマホとの上手な付き合い方」

「教育長コラム 미래の種」「イチオン政策」 44人

4面「エデュナビフェイス」「おうちで給食レシピ」

「数字で見るあつぎの教育」「親子のための耳よりインフォ」 17人

### 3 興味を持った具体的な理由をお聞かせください。

#### 【1面】

- ・ 中学時代に職場体験を行うということは、社会人としての人格を形成する上で大変重要だと思う。ましてや市内全中学校で実施されており素晴らしい。
- ・ こんなことをしているんだということが分かりやすかった。
- ・ 職業体験がここまで書かれているのは読み応えがありました。
- ・ 子供の時に体験すると色々印象に残るものも多く、学べて良いなと思ったから。
- ・ 貴重な体験ができてよかったのではないかと思います。
- ・ 子供の頃に職場体験をした内容をよく覚えているので良い経験になると思います。
- ・ 参考になる。
- ・ 子供たちが東京の職業体験のできる施設を思い出した。
- ・ キッズニアのようで興味を持った。
- ・ 甥っ子も職場体験を経験して、社会の仕組みを学んだと思いました。
- ・ こどもの頃に実施された職場体験学習は今でも記憶に残っています。このような体験は普段出来るものではないため、貴重な経験を得てもらうためにも体験学習は重要な活動であると思います。
- ・ 将来どんな職業就きたいかが分からないまま成長するのはもったいないです。さまざまな職業を知る事は、とてもいいことです。
- ・ 体験学習は、子供の役に立つので、よい取り組みだと思ったので。
- ・ 自分の時もそういうのがあれば良かったのに、と思ったので。
- ・ とても良い事業なので、もう少しページを割いて事業所の声も掲載できたら良かった。
- ・ 孫が厚木市内にいない我が家では、中学生が地域の事業所などに出向き仕事を体験するというようなプログラムがある事を、今回のエデュナビの記事で読むまで知りませんでした。このよう

な「職場体験学習」は彼らの将来にとって有益であり、とても大事なことであると思います。又、協力している事業所が延べ564カ所という事も驚きでした。このような記事をこれからもどんどん発信して行って下さい。

- ・子供達の職場体験学習は、大いに推進して行って欲しい。社会を知ることが将来の知識向上につながっていくことと思います。今後は、言語等の疑似体験学習も導入されるとよいと考えます。
- ・学生のうちに職場を体験しておくことは、将来必ず役立つと思います。私の職場にも中学生たちが来ますが、お客さん扱いはせず、後輩に指導するように教えています。
- ・中学校でステップ支援員の仕事をしていますが、2年生の職場体験学習は先生や受け入れ先企業も労力を払って子供たちのために実施しているので、多くの人に知ってもらいたいと思います。
- ・仕事を体験する、それで素晴らしさを知る、適性を知るといのはとてもよい取組と申しました。写真のみんなの笑顔も素敵でした。
- ・分かりやすく大変良かった。
- ・中学校で義務教育は終わり、卒業したら働けるということを考えると、中学生のうちに職場体験を実施しておくのは非常に有意義だと思います。自分がどんな職業に就きたいか・・・だけでなく、就業体験を通して、高校や大学に進学する意義をしっかりと見つめなおすことが必要だと考えます。
- ・子供が職場体験をしたことをいまだに思い出したりしているのを聞いて、中学校の授業の一環ではありますが、その体験がとても有意義であったと確信しています。子供たちだけではなく私たち大人も抽選でいろいろな職場体験ができればその方々の立場を考える良い機会になり、楽しいなあと思いました。今度イベントでそんな企画を考えてみてください。
- ・中学の時にこういう体験が出来るのはとても貴重なことだと思うので、羨ましく思った。
- ・このような取り組みを紹介することはとても良いことだと思うから。
- ・職場体験学習の意義、意味は大変理解出来、掲載は理解できます。子供達の意見、感想があればもっとよい記事になったのでは。1面だけではなく数ページ使っても良いのではないのでしょうか。子供達だけではなく、保護者の方等も参考になるとと思います。

## 【2・3面】

- ・記事にもあったようにスマホを利用するにあたって、良い面ばかりではなく悪い（危険な）面があるということ子どもさんには認識してほしい。また保護者の役割についても触れていてよかった。
- ・スマホを上手に利用するのは難しい。
- ・子供が通っている中学校でスマホについての話し合いをするように手紙が来ていたので、タイムリーだった。子供と話し合いをする上で参考になった。
- ・しっかりと知って欲しい事項です。1面・4面も大事と思うし有効性・必要性の高い情報媒体だと思います。
- ・今時、スマホは小学生でも電車の中などで操作している。学校に持っていかないように、また、よくないサイトに接続しないよう管理する必要がある。
- ・スマホをいつから子供に持たせるかは、子を持つ親にとって、いずれ直面する問題だと思います。始めのルール作りと、それをなまなまにしない姿勢が大切だと思います。
- ・教育委員会からの色々な情報発信に好感が持てる。派手さないが、将来を担う方々の教育に対

する教育委員会の目線が判ります。

- ・危ういスマホですから適切な指導は必要と思います。
- ・スマホについての教育は重要です。
- ・若い人から高齢者までかなりの人がスマホまたは携帯電話を使用しているが、マナー違反が目につくため。
- ・スマホについての勉強はとても大事。
- ・つついスマホを見させすぎてしまうので学校からも話をしてほしい。
- ・関心があまりない。
- ・子供達にスマホのメリットデメリットを正しく理解させることは大切だと実感しました。
- ・新聞やテレビのニュースで学校にスマホを持って行くことを取り上げていたので選びました。
- ・小学生にスマホを学校に持たせるのは反対。
- ・「考えよう スマホとの上手な付き合い方」は、お子様を持つお母さまには有用な記事と思います。次は高齢者（50歳～70歳）向けの「考えよう スマホとの上手な付き合い方」の記事をお願いします。
- ・スマホ対応への具体的な方法を期待したが、残念ながら一般的に知られていることが書かれているものだった。
- ・子供が将来スマホを持った時の参考になった。
- ・うちの子はまだですが、今後考えないといけない問題だと思いました。
- ・スマホの所持については、やはり難しい問題で、私の家でもゲームをしたがらなければ持たせたいのだが、孫に持たせるかで、まだ結論が出ていない。
- ・私たちの時代にはなかったスマートフォンという、使い方によっては、便利にも害にもなる機械。子供たちにとっての使い方の指導がどんなに難しいものかをあらためて理解することができた。
- ・心配なので。
- ・小学生から、スマホを持つ時代に家庭でのルールづくりは必要だと思う。
- ・子育て世代なので、すごく気になる話題です。小学生がいる家庭なので、まだ早いとは思いますが、使い始める前の早めのうちから、子供達にはスマホのリスクを分かって欲しいと切実に思います。小学校でも授業などでも映像などの分かりやすい教材を使って、子供達に伝えていくことも大切かと思います。
- ・こどもにスマホを持たせるにあたり参考になったため。
- ・スマホの所持の低年齢化が顕著であり、早急な対策が必要かと思います。
- ・我が子もスマホを持つようになり、いろいろ心配があります。
- ・社会にこれほど普及したスマホの使い方を正しく指導することには大いに賛成したい。
- ・内容が高度で すらすら読めない。
- ・子供のスマホの使い方はとても興味を持ちました。現代は子どもでも早い時期からスマホを持っている子が多いし、SNSによって人が傷ついたり、事件に巻き込まれたりする事が増えているので、ご家庭での約束事や、専門家の話はとても為になりました。
- ・スマホをいつ子供に持たせるか？持たせるべきなのか？持たせたら、どのように使わせるか？ほとんどの保護者が悩んでいる問題だと思っています。参考になる内容でためになりました。

- ・大人のスマホ依存度もよほどの物だと、街を闊歩するたびに悩ましく思います。大人がこうなら、子供はもっと深刻だろうと懸念しています。情報交換することにより、一人一人の意識が高まることを望みます。
- ・スマホの低学年使用には反対です。親も含めてスマホのメリット、デメリットを理解して利用する機会を学校でも広める必要があると思います。
- ・スマートフォンが普及しているが、小さいうちから正しい付き合い方をしっかりと教育する必要があると思う。
- ・スマホは便利だけれど、そのためにどんなに無駄な時間が取られているかも実感します。
- ・痛々しいですね。音声応答システムが必要なくらいクレームや問い合わせがあるなんて。もっと広報に事例を掲載して対策をアピールした方が良いです。タイムカード導入で働き方改革というのは少し違うかと。部活指導員の効果測定方法を定量的に示す記事を今後掲載して欲しいです。
- ・子どもが活動していた部活でも先生の拘束時間は大変だと思っていたので、見直しは必要だと思います。
- ・イチオン政策での、教職員の働き方改革を厚木市でも取り組んでいるという事を知れて良かった。
- ・教職員の働き方改革は、どんどん進めてほしいと思いました。
- ・先生たちの働き方改革は、素晴らしいです。是非多くの先生方の負担を減らしてほしいです。しかし、それで先生方の負担が本当に軽減されているのか現場の先生方の意見を聞いて施策に取り組んでほしいです。厚木市は、公務員の給与が他の市よりも良いようなので、給与を引き上げることも検討してください。また、小学校も教科担任制を取り入れている市町村のあるようなので、それも実施に向けて取り組むことで、厚木のPRとともに高い教育力を持つ市として人口増加も見込めるのではないかと考えます。これからも子どもたちの為のことを考えた、施策をお願いしたいです。

#### 【4面】

- ・毎回、地域で活躍しておられる方を紹介する「エデュナビフェイス」を楽しみにしています。今回の丸山さんのお話も示唆に富んだものでした。「子供が抱えた寂しさを受け止める」という言葉は、長く青少年相談員を務めてこられた丸山さんならではのもので、大変印象深く残っています。
- ・青少年相談員の活動自体を知らなかったなので、頭が下がる思いです。素晴らしいです。
- ・実際に、今学生や、街で、子どもたちにどのような問題があるのかわからない。指導員さんと話す機会もない。その中で、このような活動を続けている方は素晴らしく、また、声掛けすべきかどうかもわかるということで、すごいと思った。
- ・まったく関係ないのでモニターでなければ読まないと思うので、関係ない人でも読めるような企画、今回の給食レシピみたいなものがあると嬉しい。
- ・おいしそうなメニューの作り方が分かり、またホームページも見ましたら、大人も好きなメニューがたくさんあり、さっそく作ってみたいと思います。
- ・なかなかこった栄養もある和風チーズトーストが給食出ている今の生徒は幸せだ。
- ・家で給食を食べたいから。
- ・給食レシピで、紙面だけではなく、ネットなどでもっといろいろ発信して頂ければと思います。

た。

- ・レシピがあまりに簡素な材料ですが、美味しそうなピザになり、早速試したいと思いました。
- ・給食は、とても助かります。原材料の安心安全を考え提供してもらえると嬉しいです。
- ・太陽光発電量が紹介されているが、学校での電力量のどの程度をまかなえているのか、良く分からない。
- ・新しい施設に太陽光発電を設置して、市が環境対策をしているのがわかった。ゴミ拾い、プラスチック、ビニール削減等も、必要な理由とともに、進めてほしい。
- ・エデュナビ、というわけの分からない言葉をやめてください。教育の基本は日本語を大切にすること。
- ・全体的にカラーできれいだが、もう少し文字での情報も欲しい。
- ・教育に関心があるから。
- ・やった話ばかりでおもしろくない。

### **3 スマートフォンとの上手な付き合い方について特集しましたが、子どもたちがスマートフォンを安全・適正に利用するために、教育委員会や学校はどのようなことに取り組む必要があると思いますか。**

- ・分かりやすく説明すること。
- ・使用のルールを考えさせるとか、危険なサイトの情報とか回避の仕方とか、詐欺にあわないようにするにはとか、危険性の教育が必要。
- ・学校で閲覧制限を定期的を確認して 犯罪から生徒を守るべきだ。
- ・制限事項を明確にし、徹底する。
- ・スマートフォンを持っている利点と持っていない利点を話し合う授業があれば、何のために持つかが分かりやすいかと思います。
- ・正しい使い方を演習方式で教える。
- ・利用時間に制限をかける。学校にスマホを持ってこない。持っていくとしたら学校にいる間は預ける。
- ・スマートフォンを使いたいじめや仲間外れがなくなればいいなと思いますが、実際に学校などが取り組んでも難しいとは思いますが、ですが、うわべでなく自分がされたら嫌なことはしない、心の傷は一生消えない、人を憎むのでなく貶めるのでなく一緒に笑っている方がお互いの人生がより良いものになるということを深く伝えて欲しい。
- ・危険なサイトには気を付けて、時間を決めて使った方がいいでしょうね。
- ・保護者の教育が必要であると考えます。すべての親（大人）とは考えませんが、手本となるべき親が正しい理解をしていないと子どもを守ることができない。
- ・学校内で使用不可に設定する（圏外になるように）。
- ・メリットデメリットを話していく。自分で考えさせる。親や教育機関が守りすぎると自分で学ぶ知ることを放棄してしまうので。
- ・現在でも実施されているかもしれませんが、スクールサポーターの梅津さんが言われているような危険性を子供達にも教えて欲しいです。以前に、小学校でPTA対象の梅津さんの講義を聞いたことがありますが、気を付けようと思う意識が高まりました。

・関連行政部局と連携し「親世代への啓発」も大事だと思います。特に悪質商法などの被害者にならないよう学習と啓発を継続的に実施する事を期待します。

・スマホについてはそれぞれの家庭に適したルール作りがあると思われま。ただ単に、LINEが出来る、セキュリティの為（子供達の見守り等）に使用していますが、学校・友人知人からの連絡、ネット検索（地図、美味しいお店、乗換案内、交通機関の遅延等々）は殆ど「ガラ携」で可能です。子供達は殆どゲームですかね。使用方法について保護者、学校関係者等がもっと理解すべきです。説明が上手く出来ないのでは。上手く使っていないのでは。私はソフト開発に従事し専門家ですが、スマホは持っていません。利用価値がありません。PCで十分すぎますが。使用方法等についてページを割いて特集しては如何でしょうか。スマホ教室を定期的を開いた方がベストだと思います。

・ネット上での犯罪を子供でも分かるように説明する事で、安易に個人情報などをUPしないようにする必要あり。

・基本的に学業をする学校でスマホは不要と思います。授業中にスマホを見ていたら、没収して当然ですし、本人に返す必要もないのではないのでしょうか。スマホは便利ですが、それ以上にデメリットの方が大きいと思います。みんな持っているから欲しい、あいつは皆と違って変だから仲間はずれにしよう、といった右向け右の意識を叩き直してほしいです。

・まずは、現状認識を教育委員会が適正に把握することです。そして、公平や互助、信頼関係に基づいて利用させるべきです。「インターネット犯罪」「子供のインターネット暴力」などには、犯罪として、警察の介入もやむを得ないと思います。事なかれ主義は最悪の取り組みと帰すると思います。

- ・安全な保管体制をつくる（学校にいる間に預かるための）
- ・使い方の危険な実例を伝えていくことも必要と思います。
- ・実態調査結果からうまく利用することを目指してもらいたい。
- ・街中やバス、電車で小さい子どもがスマートフォンを使っているのをよく見かけるので、ちょっとした間違いで大変なことにならないよう、教えるのは大事だと思います。
- ・大いにある。スマホの長所欠点等を周知し安全に利用できるようにする。
- ・非常にあると思う。大人になってからでは遅いため、幼少期から基本の教育を行ってほしい。
- ・定期的に指導。
- ・ルールを決めてほしい。
- ・利用するためのルールをしっかりと決めてやるのが大切だと思う。
- ・条件禁止することも必要。
- ・便利さの対極にある歩きスマホや自転車の乗りながらの操作などでの事故等々、そのデメリットや危険性の実例を教え、自分の身だけではなく、他人を生命の危険にさらすこともあること教え、節度を持って使うよう促す必要がある。
- ・スマホ利用のルールを守る事を徹底させてほしい。
- ・スマートフォンの使い方は学校教育の範疇ではない。何でも学校に任せようとする悪習を打破すべきだと考える。学校の中での決まり事をちゃんと決めておけばいいと思います。
- ・授業時間などはスマートフォンをいじれないように回収したほうがいいのでは・・・。
- ・家庭の事情で持てない子供もいると思うので、その点に配慮することが必要。

- ・子供たちが上手に付き合えるよう、教育や指導をお願いします。例えば、具体的な問題事例（詐欺、高価な請求、勉強しない、外で遊ばない）をわかりやすく子供たちに説明してあげて欲しいと思います。
- ・学校では基本使用禁止にするべきだと思います。あくまで緊急時に使えるものにするべきです。
- ・ネット情報の危険と有用性を、具体例を使ってまず指導者が学んで欲しい。残念ながら、日本では小中学校がネットアクセスに関して最も遅れている場所となっていることを教育委員会が学んで欲しい。
- ・生徒への指導と、スマホ操作に不慣れな保護者もいると思うので、フィルター機能などの説明、周知。
- ・やはりある程度の規制は必要かと思います。
- ・危険性についての教育はもちろん、実際の危険性を、劇などにして見せて、自分も危ない対象だと思える様、身近に感じるようにしてもらいたい。
- ・やはり利用制限をすべきと考えます。学校にいるときはもちろん利用禁止だと思いますが、学校の授業等でスマホ、とくに交流アプリの使い方等の話し合いをし、いじめがないか、たまに抜き打ちのチェックをすることも大事かと思います。
- ・持ち込み禁止。
- ・基本的なルールづくりを積極的にすると良いのではないかと思う。
- ・子どもがスマホを使うことによって起きた事故、事件を教えてあげて、使い方によっては危険なものだと周知させたほうが良い。
- ・親への注意喚起ぐらいしかないんじゃないですか？学校へは持ってこないだろうから、親にしつけてもらうしかないですね。
- ・早めのうちから親も子供もスマホのリスクを知り、現代の子供達を守ることが必要だと感じます。
- ・まず、大人である自分達が使いこなすことが重要かと。教育委員会の方たちは、如何でしょうか？
- ・ダメダメを言うだけでなく、子供の知らない旨味を教えてあげる。
- ・自分の情報を安易に出すことのないよう、ケースを紹介して教育に努める。
- ・うまく失敗させるような取り組みがあると良いかなと思います。
- ・免許センターの講習で自動車事故の講座があるように、スマホを利用して実際にあった危険な画像等（逮捕や事件、事故）をわかりやすく見せる講座があるといいと思います。
- ・地域の大人がいろいろな体験談を聞かせてみてはどうか。仕事での失敗談や振り込み詐欺。もちろん良かった体験も。メリットとデメリットを自分のこととして、考えられるような取り組み。どうしても授業だと一般論になってしまいがちなので、「自分だけは大丈夫」「うちの子は大丈夫」は絶対ではない。保護者も同席して体感してほしい。
- ・スマートフォンは勿論、校内には持ち込み禁止だと思いますが、携帯電話、スマホの所持率が、中学生は80%以上、小学生でも65%以上との事、驚きでした。これは2015年度のデータですので、最近ではもっと増加している事と思います。学生塾に通う等、子供の状況をスマートフォンで把握したいという事もあるかと思いますが、子供達間で交流アプリを使用して「仲間はずれ」にする相談等、いじめに繋がる事象が発生しているとも聞いています。「スマホ安全教室」を開催

しているようですが、その講座の中で、インターネット依存、SNSへの投稿、高額課金等の問題を具体的に提起して、トラブル予防を図る事を推進して頂けたらと思います。

・スマートフォンを使い始めて1年余り、その保有する機能も良く知らないし、ましてや使いこなしているはずもなく、その使いように意見を述べるのはおこがましいと思いますが、教育委員会や学校が小中高のお子さんを持つ父兄の方から、スマートフォンの功罪について、徹底的にアンケートやヒアリングを通して意見を集約、分析し、そのデメリットをなくする方向で善後策、対応策を検討されたら、どうでしょうか。スマートフォンの製造、販売、活用等で莫大な利益を得ている巨大IT企業や通信会社等に対して、様々な課題の是正策・打開策を検討させるのも大事かと思えます。

- ・家庭での話し合いと一緒に参加してもらえると助かる家族も多いと思います。
- ・セキュリティやいじめに繋がらない利用法に徹する。
- ・スマホのメリット、デメリットが明確になっていることを親として認識し、子供たちに安易に与えないようにすることも必要であると思います。学校等においては、ネット社会への教育あり方、指導方法を確立し、子供達への教育時間も設けて欲しい。
- ・道徳等の授業の中で、スマートフォンとの付き合い方について、子どもたちに教えてほしいと思う。例えば、ルールは必要とか、誰かが持っていたら、欲しくなる、という気持ちに寄り添ったアドバイスや、持っている子にも、それは自慢すべきことではないとか。大人向けには、子どもとルールを決める等、動画を作成し、自宅で見られるようにしてほしい。
- ・パンフレット、動画等を作成し、学校で指導していただきたい。
- ・スマホの安全な利用法や危険な行為を、教育現場で事例を挙げて教えてあげたらいいと思います。スマホは便利なものに違いはないのだから。
- ・スマホを持たせていない家庭や持たせる余裕のない家庭の子供にどう対処していくかも十分考えて進めてほしい。
- ・日々指導していただくのと共に、家庭との連携が不可欠化と思います。
- ・社会、家庭が一体となって対策することが必要だと思います。
- ・スマホの利便性を考えると、一律に使用禁止にする訳にはいかないだろうが、利用方法については、再三再四、親子に指導するのが王道であろう。
- ・基本は禁止、使う場合のリスクについては言いづらいことも含めてすべて見せないと、よい部分だけがフォーカスされて子どもには魅力的に感じてしまうと思います。記事にあるように諸刃の剣であることを知って親が責任をもって使う、監視する必要があり、教育委員会や学校はその雰囲気づくりをしてほしいです。例えば、周りが持っていたらそれが当然、持っていないと仲間外れになるようなことを避ける取り組みをしてほしいです。
- ・この刊行物は 子供を持つ父兄に読んでもらいたい内容だと思います。子供のスマートフォンの使い方に注意する点を 記載された方が良いと思いました。
- ・便利だけど怖いこともたくさんあることを考えていく機会を持つ事があれば良いかと思えます。
- ・教育委員会には何も期待できない。教育委員会はいらない。
- ・スマートフォン（SNSや位置情報等）の危険性についても、しっかりと教えて頂ければと思います。
- ・実際に有害サイトをみんなどう規制しているのかの情報。



・スマホのトラブル原因は、無知であることと自制が利かないことに集約するように思えるので、学校では頭ごなしに反対では無く、情報との上手な付き合い方を教えるような場を設けてほしいと思った。

・インターネットとの関わり方を教えていくのは必要。性教育と同じ。教職員が時代についているかは疑問がある。家庭でもきちんと管理できるように指導していくことも必要。

・やはり、家庭で約束事を決めること。子どもに、誤った使い方によってどうなるかを分かりやすく心に響く内容で教えていくことが大切だと思います！小学校、特に中学校では授業で時間を設けて行えると効果的ではないかと思います！

・スマホの使い方教室を定期的開催する。スマホは中身も日々進化しているので定期的開催する必要があると思います。

・一人一人の意識を高めるために、家庭での導入、注意が不可欠ですが、学校や委員会でも規制や校則等である程度の制限をもたせていただけるとありがたいです。自分で自制するのはとても困難だと感じています。

・家庭との連携が最も重要だと思います。子供と親の話し合いもかなり必要だと思います。

・「厚木市の小・中学生は、夜の使用時間は10時まで。」など、特に夜の使用可能時間を厚木市全体で取り決めをし、子どもの睡眠時間確保、勉強時間確保につなげられるといいなと思いました。

・教育委員会や学校は、スマートフォンを持つ子どもたちの親に向けて講演したらよいと思います。持たせる・持たせないは、親の考えなので、管理するのは親の責務だと思います。スマホでのやり取りは、学校とは別の場所で行われます。それに学校や委員会がトラブルに対応していたら、それこそ先生たちの長時間勤務ではないでしょうか。先生たちは、学校での講演や授業を通してネットに関する情報を子どもたちに教えて、トラブルがあった際には適切に対応されていると思います。

・スマートフォンは利用する方の心掛け次第で、より便利なものにもなるし、悪害にもなることをきちっと教えてあげてほしい。

・親がもっと勉強して、親が指導するべきだ、行政に押し付けるな！と書いた方が良いです。やったら駄目になる例などの記事を希望します。詐欺事件、買い物中毒、イジメ、集団自殺。

・今スマートフォンは低年齢化していて、本当に問題なのは小学生ではないかと思います。まだ厚木市ではあまりそのことに気づいていないのか取り組みを急いだ方がよいと思います。中学生になると学校でもかなり詳しくこんな怖いこともあるんだよというような授業もあるので、ある程度制限できるし判断もできます。実際にうちの子も小学校6年生の時に初めて交流アプリをやった時に、嬉しくてみんなにたくさんスタンプを送ってしまい、うぜーよ！といじめられてしまいました。始める時期が違ふとそういうことが起きるんだなと修正するのに、かなり時間がかかりました。

・家庭の中でルール作りをすることが1番重要だと思うので、学校や教育委員会はそれをバックアップする体制を整えることが必要だと思う。

・自分がどういう使い方をして、どの位の時間を費やし、そのためにどういう弊害があるのか、まず自分自身で振り返って自覚することも大切かと思っています。

・単純に「使用を禁止する」「使用を制限」するのではなく、まずは子供たちの気持ち、利用目的

をしっかりと把握する必要があると思う。

#### 4 今回の教育委員会だより「Edu Navi」について、意見、感想があればお聞かせください。

- ・ 職場体験の記事で自分の学生時代の職場体験を思い出しました。懐かしい気持ちと、今は更に発展しているんだという時代の流れを感じました。
- ・ 職場体験は面白いと思うので、いろいろ体験させてほしいです。
- ・ 職場体験の記事は、写真だけではなくもう少し掘り下げたものが見たかった。
- ・ 子供たちの職場体験の写真は生き生きしていて素晴らしいなと感じました。
- ・ 職業体験をしている子供たちをもっとサポートしたいです。
- ・ 職場体験学習、息子にもぜひ学んで欲しいと思った。
- ・ 職場体験学習で責任や感謝の気持ちを学んでほしい。
- ・ 体験学習の記事は、実際に体験した人の生の声をもっと多く取り上げれば良かったと思う。
- ・ 職場体験の紙面では、カラフルで楽しさが伝わってきました。中学時代に職場体験して経験することは多感な時期だからこそ、自分の将来の夢につながります。
- ・ 職場体験学習の写真の生徒たちが、真剣であったり笑顔であったり、充実していることが伝わってきて素敵だった。
- ・ 職場体験学習の記事って、表紙だけに書いてあるだけですか？どんな仕事がある、厚木市にはどんな企業さんや、お店があり、どんな資源を活用している、など、きちんと紹介しないで、次の世代に厚木市をつないで行けますか？やりました報告が広報の役割とは思いません。受け入れた企業さんや商店街の方の報告もあって良いと思います。ゆるくやるなら、行政がやらず、キッザニアなどの施設に行かせればよい。もっと普段の学習になるコンテンツにして欲しいです。
- ・ いじめや仲間はずれなどにもつながるため、スマホのルールや使い方についてもっと詳しく掲載してほしい。
- ・ 小学生まで携帯やスマホを持つ時代になったのかと驚いている。
- ・ スマホとの付き合い方を考えるリーフレットは、ダウンロード形式で受領できれば良いかと思っています。
- ・ 人ごとではないスマートフォンの内容は、大人がしっかり子どもに正しい使い方を伝えていかなければいけないと、考えさせられました。ありがとうございました！
- ・ 小学校3年の子供が、友達にスマホを見せてもらったようで、スマホがほしいと、時々いう。子どもには、スマホが高価なものという意識はないのだろう。とても参考になる記事だった。
- ・ このエデュナビを見て、スマホの使い方を、ご家庭で、話し合ってみるきっかけになるといいですね。
- ・ スマホとの付き合い方は難しいテーマだと思います。継続して取り扱ってほしいですし、今回の記事は挿絵が今どきのものになっていてよかったです。
- ・ かなりの子どもが携帯やスマホを持っていて、利用時間も長い事を改めて感じました。
- ・ うちの子はまだ小さいのでピンときませんが、今後考えないといけない問題が多数あるなど実感しました。
- ・ 部活動指導員配置事業はスピードを持って進めてほしい。部活動にかかる先生方の負担は話を

聞くととても大変だと思いますので、早く負荷を低減して教科にさらに注力できるようにすべきと思います。

- ・給食レシピ、試してみたいです。
- ・給食レシピ楽しいです。
- ・給食レシピ、早速チャレンジしてみます。次回も楽しみにしています。
- ・給食レシピは単品だったので、メニューの紹介も合わせて見てみたかった。
- ・太陽光発電が利用されているのを知り、たくさん電気を使う学校に役立っていると思いました。
- ・数字で見るあつぎの教育、意外な観点の数字で面白いので、グラフなどを使ったら、よりわかり易いのでは。
- ・早く走るコツを教えていたが、最近の子供は走り方を教えてやれないとうまく走れないのだろうか？
- ・速く走るコツ、わかりやすい。
- ・速く走るコツなど、子供たちが興味を持ちそうな内容を取り上げているのもとても良いと思いました。
- ・エデュナビ、数人の知人友人に聞いてみました。全員知らなかったです。広報あつぎで少し紹介してはどうでしょうか。おうちで給食レシピ1食だけではなく2、3食紹介しては。シリーズで食材を変えシリーズ化しては如何でしょうか。
- ・青少年相談員の丸山さんの記事を読んで、相談員という仕事に興味を持ちました。実際に相談員はどんな人になることが出来て、どういう仕事をしているのか、具体的に知りたいです。
- ・青少年相談員の方の存在はとても大きいと思います。写真の温かい笑顔がとても印象的でした。
- ・特になし。
- ・良かった。
- ・責任ある教育委員の考えや活動がなく 委員の顔が見えてこない。
- ・教育委員会の活動が、良く分かる。
- ・特集を作った感想があってもよいかと思います。
- ・有益な情報が多かった。
- ・とても良い記事だと思います。
- ・毎月発行しなくてもいいのではないのでしょうか。
- ・特にありません。
- ・今回のテーマは、とても興味深いと思いました。
- ・特になし。
- ・子供が理解できるかどうかは不明だが、内容としては結構よい
- ・なし。
- ・教育委員会からの色々な情報発信に好感もてる。派手さないが、将来を担う方々に関する教育に対する（教育委員会）の目線が判ります。今後とも、教育委員会としての理念の発信に期待します。
- ・Education Navigator ではないのでしょうか？また英語は簡略化されて難しい。日本語でこの刊行物の名前、役割を明確にされる事が望ましいです。
- ・特になし。

- ・役に立った。
- ・よく分からない。
- ・特別記すことはない。
- ・厚木市の良さ（厚木市独自の取組等）を紙面に載せてPRして戴ければと思います。
- ・イラストや写真を使って工夫していることはよくわかるが、字が小さくて読みにくい。
- ・活動の内容が思ってた通り、具体的に深く行われていると感じた。
- ・どんどん少子化が叫ばれる現在、子供は皆の財産でもあり、子育てが終わった世代であっても皆で教育について考える機会を持つことは大事だと考えます。
- ・特にないです。
- ・子どもがいない家庭にも教育現場の情報を与えてくれる良い情報誌だと思います。
- ・特になし。
- ・毎回、いろんなことで、頑張っているなと思います。
- ・毎回、いろんな取り組みしていると、感心している。
- ・特にありません。
- ・ちょうど子供がいるので、とてもためになります。
- ・何のために予算を割いて作成配布しているのかがわからない。誰に読んでほしいのか。生徒や児童なのか、保護者なのか、それ以外の市民なのか。
- ・毎回テーマを決めて取材・編集するのは大変な作業だと思います。それぞれテーマ毎に纏っていて読みやすいです。又、内容については子供達だけの事ではなく、教師や地域の方々のも取り上げられている事も大変良いと思います。今後もより良い、楽しい情報を発信して行って下さい。
- ・「子供達を社会の病弊から守る」という視点から本誌は編集されていると推察しております。これからもこの視点を忘れることなく編集に取り組んで頂くよう期待しています。
- ・楽しく拝見しました。
- ・子供達への支えや生活指導の重要性を強く感じるとともに、大人達が子供や孫に対する接し方まで伝わる内容になっていると思いました。
- ・活動を進めている様子が伝わってくる。これからも、頑張ってほしい。
- ・正直、文字が多すぎて、読みたいという気持ちになりませんでした。もう少し文字数を減らして字を大きくしてみたらいかがでしょうか。
- ・今後もタイムリーな特集に期待しております。
- ・内容はともかく、タイトルは何かならないか？何を言いたいかわからない。英単語を2つとも短縮した和製英語もほどほどに！日本語でも内容がわかる単語は、あるはずだ。
- ・特になし。
- ・紙面もゴチャゴチャしてなくて見易いです。
- ・少子化が叫ばれる中、子供を取り巻く環境はより一層厳しいものになりつつありますので、教職員だけでなくPTAや地域住民が丸となって子育てや指導に当たらなければならないと感じました。
- ・毎回、読んでいます。厚木市の子育てや教育に特化した広報なので子を持つ親には有難い！
- ・以前と同様、参考にしたり、興味をここから持てることも多いと感じました。始まりは、ここ

から！

・定期的に各方面での活躍事例を記事にしてくれるのは有難い。また教育を受ける学童の立場での意見も記事にしてほしい。

・特にありません。

・紙面が読みやすいと思いました。とても参考になります。

・教育に大事なことは個人への尊重と社会の規範を守ることに尽きる。簡単なようだが、それを守り続けていくには個人だけの力だけでは難しい。個人と社会がうまく関わっていくことで実現されていくのだと思う。

・今回エデュナビをしっかりと見たのが初めてでしたが、内容が濃くとても興味深かったのでこれからも必ず見せてもらおうと思いました。

・どのページも分かり易く記事にされていて読みやすかった。